

## イネ縞葉枯病予防のため、箱施用剤で ヒメトビウンカを防除！

令和7(2025)年11月に採集したヒメトビウンカ越冬世代幼虫(写真1)のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は、県平均で4.4%と、前年よりやや低下し、平年値(過去10年間の平均値5.4%)を下回りました(表1)。保毒虫率の年次変動の幅は少ない(表2)のですが、今年度も地点によっては防除の必要となる10%以上の地点があり、注意が必要です。なお、生息密度は13.6頭/10㎡で平年並でした。

本年作においても箱施用剤を活用した適切なヒメトビウンカ防除を実施し、縞葉枯病の発生を防ぎましょう。

表1 ヒメトビウンカ越冬世代幼虫のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率 (%)

地点名		年度		
		2023	2024	2025
県北部	大田原市蛭畑	4.2	2.1	2.1
	大田原市親園・実取	0.0	3.1	—
	那須烏山市滝田	0	1.0	0
	さくら市蒲須坂	6.3	8.3	—
	さくら市押上	—	—	3.3
	高根沢町花岡	3.1	11.1	11.5
県中部	真岡市横田	5.2	3.1	1.0
	宇都宮市横山	7.3	2.1	3.8
	宇都宮市雀宮	5.2	21.9	7.1
	上三川町上三川	14.6	6.3	2.3
	鹿沼市酒野谷	4.2	9.4	5.4
県南部	下野市小金井	5.2	2.1	13.5
	小山市小葉	3.1	3.1	—
	小山市石ノ上	4.2	2.1	1.0
	壬生町助谷	5.2	2.1	1.0
	栃木市惣社	5.2	0	6.8
	栃木市大平町真弓	4.2	11.5	1.0
	栃木市藤岡町富吉	1.1	5.6	12.5
	佐野市堀米	4.2	0	1.0
	足利市上渋垂	2.1	0	2.1
県北部平均		2.7	5.1	4.2
県中部平均		7.3	8.5	3.9
県南部平均		3.8	2.9	4.9
県平均		4.4	5.0	4.4

2025年度の検定サンプルは、11月中旬に、水田畦畔、休耕田のイネ科雑草、一部地域では再生稲から採取した。



写真1 ヒメトビウンカ幼虫



写真2 イネ縞葉枯病の黄化症状

表2 ヒメトビウンカ越冬世代幼虫のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
保毒虫率(%)	10.4	6.3	5.5	6.1	6.7	5.0	2.4	2.1	4.4	5.0	4.4

## □防除対策

水稲の播種時から移植当日に箱施用剤（表3）を適切に使用し、ヒメトビウンカを防除する。特に、前年に縞葉枯病が多発した地域に作付する場合は防除を徹底する。また、他の水稲病害虫の発生状況も踏まえ、総合的に見て適切な薬剤を選定する。

表3 ウンカ類に登録のある主な箱施用剤（令和8（2026）年3月4日現在）

農薬名	使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	成分	農薬の系統	RACコード
<b>●殺虫剤</b>							
リディアNT箱粒剤	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50g	育苗箱の上から均一に散布する。	は種時(覆土前)～移植当日	1回	フルピリミン	その他	I:4F
フェルテラゼクサロン箱粒剤				1回	トリフルメゾピリム	その他	I:4E
					クロラントラニリプロール	ジアミド	I:28
ゼクサロンパディート箱粒剤				1回	トリフルメゾピリム	その他	I:4E
					シアントラニリプロール	ジアミド	I:28
<b>●殺虫殺菌剤</b>							
稲名人箱粒剤	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50g	育苗箱の上から均一に散布する。	は種時(覆土前)～移植当日	1回	オキサズスルフィル	スルフィル	I:37
					イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03
防人箱粒剤				1回	トリフルメゾピリム	その他	I:4E
					クロラントラニリプロール	ジアミド	I:28
					イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03
スタウトダントツ箱粒剤				1回	クロチアニジン	ネオニコチノイド	I:4A
イソチアニル					その他(殺菌)	F:P03	
エパーゴルフオルテ箱粒剤				1回	イミダクロプリド	ネオニコチノイド	I:4A
					イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03
ルーチンアドスピノ箱粒剤				1回	ペンフルフェン	SDHI	F:7
	イミダクロプリド	ネオニコチノイド	I:4A				
	スピノサド	スピノシン	I:5				
ツインターボ箱粒剤08	1回	イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03			
		クロチアニジン	ネオニコチノイド	I:4A			
Cs. オリゼリディアEV箱粒剤	1回	イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03			
		フルピリミン	ピリジリデン	I:4F			
		プロベナゾール	その他(殺菌)	F:P02			
		ペンフルフェン	SDHI	F:7			

詳細は、農業総合研究センター 防除課（Tel. 028-665-1244）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは「栃木県農政部 X(@tochigi\_nousei)」、

農業総合研究センターホームページ (<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>)

でもご覧いただけます。

